

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 23 年 1 月 20 日 (2011.1.20)

【公表番号】特表 2009-518891 (P2009-518891A)
 【公表日】平成 21 年 5 月 7 日 (2009.5.7)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-018
 【出願番号】特願 2008-543580 (P2008-543580)
 【国際特許分類】

H 0 4 W 40/30 (2009.01)

H 0 4 L 12/56 (2006.01)

H 0 4 W 84/18 (2009.01)

【F I】

H 0 4 Q 7/00 3 6 3

H 0 4 L 12/56 1 0 0 Z

H 0 4 Q 7/00 6 3 3

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 11 月 27 日 (2009.11.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

メッシュネットワーク中の複数のノード間でデータグラムをルーティングするステップと、

前記複数のノードのうちの 1 つ以上にメッセージをルーティングするステップと
 を含み、前記ルーティングメッセージはハローパケットとアップデートパケットとを含む、方法。

【請求項 2】

前記ハローパケットは、ネイバー関係を確立し維持する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記アップデートパケットは、前記複数のノードに格納されたルーティングテーブルを維持する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記ルーティングテーブルは、宛先 IP アドレス、宛先マーク、ルータ ID、最大シーケンス番号ルート、最小メトリックルート、即時アップデートフラグ、およびメッセージー情報を含む、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記アップデートパケットは、定期アップデートパケット、即時トリガアップデートパケット、および通常のトリガされたアップデートパケットを含む、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 6】

データグラムをルーティングするステップは、最大宛先シーケンス番号を有するルートを選択するステップを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記アップデートパケットは、メッセージーを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

1 つ以上のネイバーノードとのリンクが壊れているかどうかを監視するステップをさらに

含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

宛先ノードへのリンクが壊れているときにローカル修復手順を実行するステップをさらに含む、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

複数の命令を格納したコンピュータ読み取り可能な媒体であって、前記複数の命令は、コンピュータにより実行されると、前記コンピュータに、

メッシュネットワーク中の複数のノード間でのデータグラムのルーティングと、

前記複数のノードのうちの 1 つ以上へのメッセージのルーティングと

を実行させ、ルーティングメッセージはハローパケットとアップデートパケットとを含む、コンピュータ読み取り可能な媒体。

【請求項 11】

前記ハローパケットは、ネイバー関係を確立し維持する、請求項 10 に記載のコンピュータ読み取り可能な媒体。

【請求項 12】

前記アップデートパケットは、前記複数のノードに格納されたルーティングテーブルを維持する、請求項 10 に記載のコンピュータ読み取り可能な媒体。

【請求項 13】

前記ルーティングテーブルは、宛先 IP アドレス、宛先マーク、ルータ ID、最大シーケンス番号ルート、最小メトリックルート、即時アップデートフラグ、およびメッセージー情報を含む、請求項 12 に記載のコンピュータ読み取り可能な媒体。

【請求項 14】

前記アップデートパケットは、定期アップデートパケット、即時トリガアップデートパケット、および通常のトリガされたアップデートパケットを含む、請求項 11 に記載のコンピュータ読み取り可能な媒体。

【請求項 15】

追加命令を格納し、前記追加命令は、データグラムのルーティングのためにコンピュータにより実行されると、前記コンピュータに、最大宛先シーケンス番号を有するルートを選択をさらに実行させる、請求項 10 に記載のコンピュータ読み取り可能な媒体。

【請求項 16】

前記アップデートパケットは、メッセージーを含む、請求項 10 に記載のコンピュータ読み取り可能な媒体。

【請求項 17】

追加命令を格納し、前記追加命令は、コンピュータにより実行されると、前記コンピュータに、1 つ以上のネイバーノードとのリンクが壊れているかどうかの監視をさらに実行させる、請求項 10 に記載のコンピュータ読み取り可能な媒体。

【請求項 18】

追加命令を格納し、前記追加命令は、コンピュータにより実行されると、前記コンピュータに、宛先ノードへのリンクが壊れているときのローカル修復手順の実行をさらに実行させる、請求項 11 に記載のコンピュータ読み取り可能な媒体。

【請求項 19】

メッシュルータであって、

プロセッサと、

前記プロセッサに結合されたメモリと、

前記プロセッサおよびメモリを結合するバスと

を備え、前記メモリは、メッシュネットワーク中の複数のノード間でデータグラムをルーティングするため、および前記複数のノードのうちの 1 つ以上にメッセージをルーティングするための、前記プロセッサにより実行される命令を格納し、ルーティングメッセージはハローパケットとアップデートパケットとを含む、メッシュルータ。

【請求項 20】

前記ハローパケットは、ネイバー関係を確立し維持する、請求項 19 に記載のルータ。

【請求項 21】

前記アップデートパケットは前記メモリに格納されたルーティングテーブルを維持する、請求項 19 に記載のルータ。

【請求項 22】

前記ルーティングテーブルは、宛先 IP アドレス、宛先マーク、ルータ ID、最大シーケンス番号ルート、最小メトリックルート、即時アップデートフラグ、およびメッセージー情報を含む、請求項 21 に記載のルータ。

【請求項 23】

前記アップデートパケットは、定期アップデートパケット、即時トリガアップデートパケット、および通常のトリガされたアップデートパケットを含む、請求項 20 に記載のルータ。

【請求項 24】

データグラムをルーティングするステップは、最大宛先シーケンス番号を有するルートを選択するステップを含む、請求項 19 に記載のルータ。

【請求項 25】

前記アップデートパケットは、メッセージーを含む、請求項 19 に記載のルータ。

【請求項 26】

前記メモリは、1 つ以上のネイバーノードとのリンクが壊れているかどうかを監視するように、前記プロセッサにより実行される命令をさらに格納する、請求項 19 に記載のルータ。

【請求項 27】

前記メモリは、宛先ノードへのリンクが壊れているときにローカル修復手順を実行するように、前記プロセッサにより実行される命令をさらに格納する、請求項 26 に記載のルータ。